

EX 3E-74

468
60

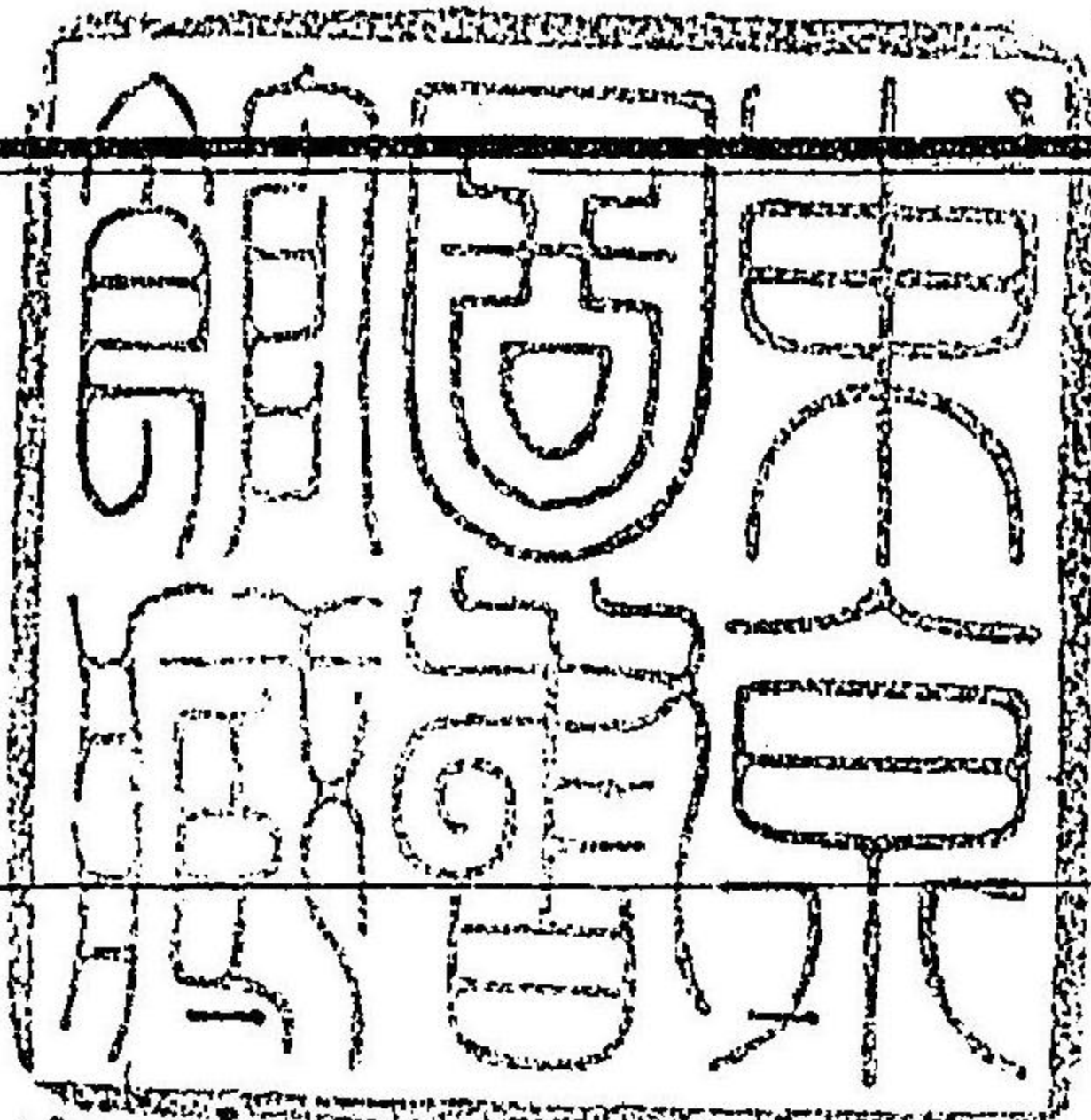
滋賀縣栗太郡草津村諸法規

第一編

3E-74

特50
176

CZ
1113
68-K-



凡例

一本編ハ栗太郡草津村條例及其裁令文、規則、細則、規則、細則等ヲ掲載スルモノニシテ法律規則ノ必要ナルモノ

ハ其種目ノ次ニ抄出ス

ハ本則中削除廢止ニ係ル條項ハ之レヲ省キ改正追加

ハ其現行文ヲ掲ク故ニ本編ハ明治二十四年十二月

一日ノ現行ナリ

ハ本書齣頭ニ餘白ノ欄ヲ設ケ爾後改剛アル毎ニ之レ

ヲ記入スルノ便ニ供ス

明治廿四年十二月

編者 深尾信治識



滋賀縣栗太郡草津村諸法規

目次

一 公文公告式條例	一
一 村費徵收法條例	二
一 村會議員改撰交替手續條例	七
一 助役增設條例	八
一 村會會議細則	九
一 吏員報酬給料支給規則	二二
一 村長以下文具支給規則	二六
一 村長以下旅費支給規則	二七
一 草津村區畫設置ノ件	二八
一 區長報酬額ノ件	二九
一 戶別等級課額規則	二九

- 一 役場會計決算報告期限ノ件 三一丁
- 一 歳出豫算科目流用支辨規程 三二丁
- 一 常設消防規程 三二丁
- 一 臨時出納檢査規程 三九丁
- 一 商工業料理屋飲食店課額等級規則 四〇丁
- 一 村稅徵收期限 四一丁
- 一 村長助役改選交替手續規程 四二丁
- 一 收入役改選交替手續規程 四三丁

明治廿二年七月條例第一號

公文公告式

第一條 條例並規則ハ一定ノ揭示場ニ揭示スルヲ以

テ公告式トス

第二條 條例並規則ハ揭示ノ翌日ヨリ三日ヲ經テ施

行ノ期限トス

第三條 急施ノ事件ニシテ即日ヨリ施行ヲ要スルモ

又ハ施行ノ日ヲ掲ケタルモノハ前條ノ例外トス

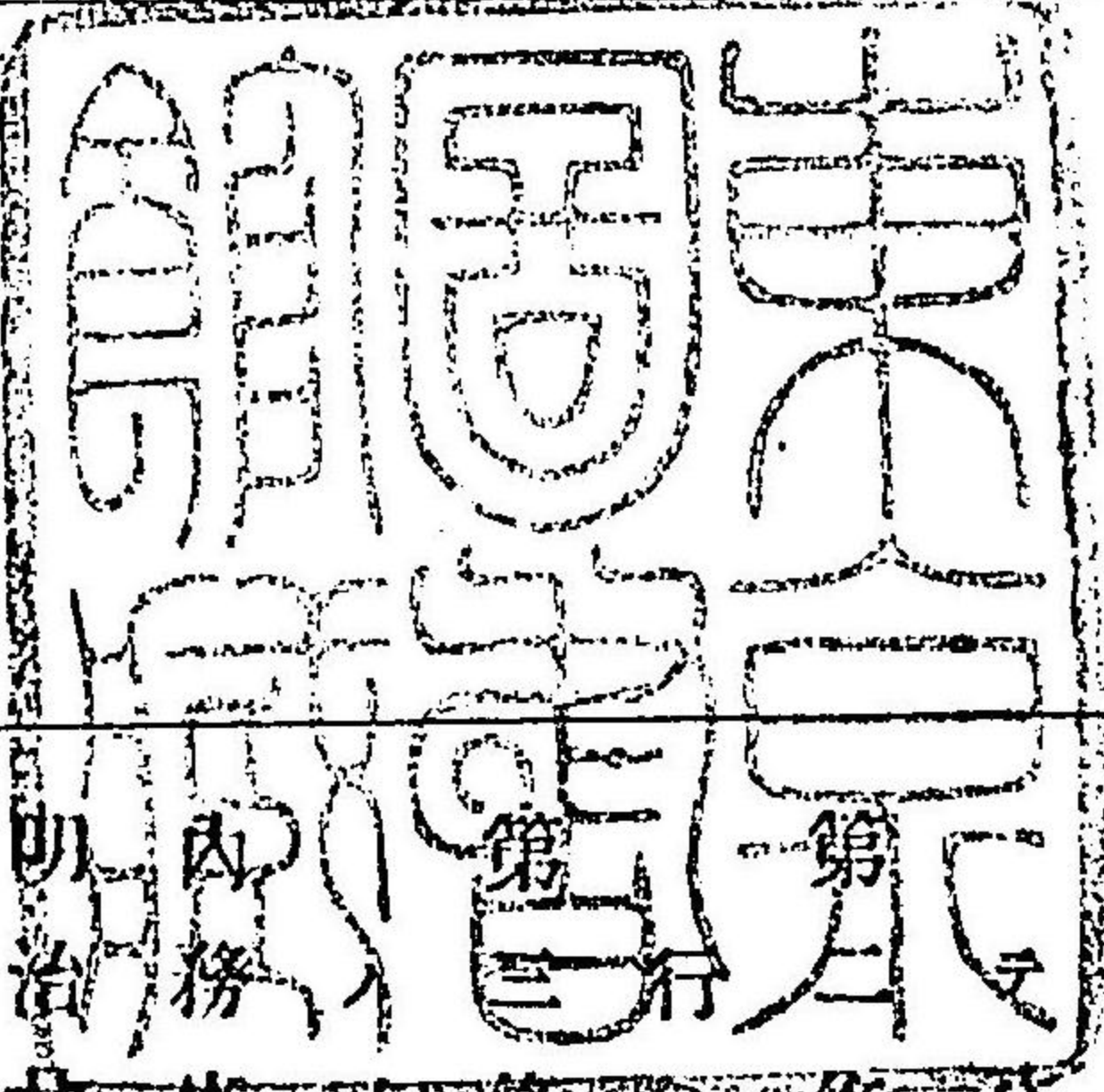
內務省許丁第七一號

明治廿二年六月十九日京請第一號滋賀縣栗太郡草津

村條例第一號公文公告式ニ關スル件

右町村制第百廿五條ニ依リ之ヲ許可ス

明治廿二年七月八日



明治廿二年十一月條例第二號

村費徵收法

- 第一條 此條例ニ於テ村費ト稱スルモノハ村税及過怠金等渾テ公法上一切ノ收入ヲ謂フ
- 第二條 此條例ニ於テ納人ト稱スルモノハ一箇人ト法人トヲ問ハヌ又本人ト代人トヲ問ハヌ總テ之ヲ納ム可キ義務アルモノヲ謂フ
- 第三條 納人ニシテ當村内ニ住居又ハ滞在セサルモノハ當村内ニ住居ヲ拂フル者ヲ以テ代納人ト定メ双方連署ノ上之ヲ届出ツ可シ
- 第四條 村費ハ直チニ徵收ス可キ者ヲ除クノ外納期十日以前ニ其令書ヲ發付ス

- 第五條 納期ノ規定ナキモノハ其都度納期ヲ定ム
- 第六條 令書ハ村費徵收臺帳ニ依リ左ノ事項ヲ記入シ發付者ノ職印ヲ押捺シタル上原簿ト割印ス
 - 一 令書番號
 - ニ 納人ノ住所
 - 三 所屬年度及種目
 - 四 金額
 - 五 期限
 - 六 發付ノ年月日
 - 七 發付者ノ職氏名
- 第七條 法律上ノ訴願ヲ許シタル者ハ前條ノ外期限ヲ令書ニ記入ス
- 第八條 總テ令書ハ使丁ヲシテ送達セシム

第九條 令書ハ之ヲ納人又ハ家族雇人ニ渡ス可シ若
納人ニ渡スコト得サルトキハ其同居人又ハ親屬ニ
渡ス可シ

但該家不在ノトキハ近隣ノモノニ托スルコトモ
アル可シ

第十條 令書ヲ領收シタル後之ヲ紛失シタルトキハ
其旨申立更ニ同一ノ令書ヲ受ク可シ

第十一條 令書ヲ領收シタルトキハ納人ハ其期限迄
ニ現金相添收入役ニ差出スヘシ

第十二條 村費ハ一時ニ納入スルコトヲ得サルトキ
ハ其旨申立期限迄ニ分納スルコトヲ得

第十三條 總テ村費ハ代人ヲ以テ之ヲ納入スルモ妨
ケナシ

第十四條 村費ヲ納メタルモノアルトキハ收入役ハ
徴收臺帳ニ照査シ之ヲ領收シ其令書ニ領收年月日
ヲ記入シ職印ヲ押捺シタル上尙徴收臺帳ニ同一ノ
記入ヲナシ認印ヲ押捺シタル上彼是割印シ其令書
ヲ納人ニ還付スヘシ

但第十二條ニ依リ分納シタル場合ニ於テモ亦同
シ

第十五條 既納ニ係ル村費ノ拂戻令書ヲ受ケタルト
キハ期限迄ニ其領受證書及令書ヲ收入役ニ差出シ
受取方申立ツヘシ

第十六條 既納ニ係ル村費ノ仕拂ヲ受クルモノハ相
當代人ヲ以テ之ヲ申立ツルヲ得可シ
但委任狀ヲ差出サ、ル者アルトキハ其支拂ヲナ

スコトヲ得ス

第十七條 前二條ノ手續ヲ爲シ既納ニ係ル村費ノ拂戻ヲ要求スル者アルトキハ臺帳ニ依リ之ヲ照査シ其金額ノ支拂ヲ爲ス可シ

但本人ヨリ代人ヘノ拂戻停止方ヲ申出タルトキハ其支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 既納ニ係ル村費ノ支拂ヲ爲シタルトキハ臺帳ニ其旨ヲ記シ認印スヘシ

第十九條 期限内ニ村費ヲ納入セス又ハ拂戻ヲ要求セサルモノアルトキハ收入役ハ其金額及納入ノ住所氏名ヲ村長ニ報告ス可シ

第二十條 期限内ニ村費ヲ納入セサル者ニ對シ村長ニ於テ督促狀ヲ發スルトキハ第八條ニ依リ之ヲ送

達セシム

内務省許丁第三六四號

明治廿二年十月十三日稟請第五號滋賀縣栗太郡草津村條例第二號村費徵收ニ關スル件

右町村制第百廿五條ニ依リ之ヲ許可ス

明治廿二年十一月十五日

内務大臣 伯 鸞 山 縣 有 朋 圖

明治廿四年五月條例第一號

草津村會議員定期改選交替手續條例

第一條 村會議員ノ任期ハ月ヲ以テ之ヲ算ス

第二條 定期改選ハ其任期ノ了ル月ニ於テ之ヲ行フ

第三條 新任議員ハ前任議員任期滿限ノ翌月一日ヲ以テ就職スルモノトス

内務省許丁第六〇號
明治廿四年四月廿四日稟請第二七二號滋賀縣栗太郡
草津村條例議員定期改撰交替手續ニ關スル件
右町村制第百廿五條ニ依リ之ヲ許可ス
明治廿四年五月七日

内務大臣 伯爵 西郷從道 印

明治廿四年九月條例第二號

草津村助役増設條例

- 第一條 本村ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員
ヲ二名トス
- 第二條 制第五十六條ニ據リ助役壹名ヲ有給吏員ト
ス
- 第三條 助役ノ席次ハ名譽職ヲ以テ上席トス

内務省許丁第一六三號

明治廿四年八月十四日稟請第五二七號滋賀縣栗太郡

草津村條例助役ニ關スル件

右町村制第百廿五條ニ依リ之ヲ許可ス

明治廿四年八月廿九日

内務大臣 子爵 品川彌二郎 印

明治廿二年五月村告示第一號

草津村會會議細則

第一章 通則

- 第二條 村會ハ其年四月ヨリ翌年三月迄ニ係ル歲入
出豫算表並ニ其一周年度間ニ於テ町村ニ必要ナル
事件ヲ議定スル爲メ毎年一月二月間ニ於テ之ヲ開
ク其會則ハ七日以内トス其豫知シ得可カラサル事

件ヲ議定スル會議ハ隔月十五日ニ於テ之ヲ開ク若シ臨時急施ヲ要スル事項ニシテ定日會議ヲ待ツ能ハサルコトアルトキハ隨時開會スルコトヲ得其會期ハ各三日以内トス

第二條 村會書記ハ議長之ヲ選任ス

第三條 會議ハ午前第九時ニ始リ午後第四時ニ終ル時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコトアル可シ

第四條 議員ノ席次ハ抽籤ノ番號ヲ以テ之ヲ定ム但改選毎ニ抽籤シテ之ヲ改ム

第五條 會議ノ議案ヲ修正シ又ハ審査ヲ要スルコトアルトキハ委員ヲ選舉シ之ニ依托スルコトアル可シ

第六條 小會議ハ議事ノ都合ニ依リ臨機之ヲ開ク

第二章 議 則

第七條 議事ノ順序ハ左ノ通區別シ議長ハ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシメ及ヒ可否ノ決議ヲ取ル可シ

第一次會 總 體 議

第二次會 議案ノ疑議ヲ質問シ及ヒ總體ノ可否ヲ議ス

第三次會 議案ノ條項逐テ審議討論ス

議案ノ旨趣ヲ覆議確定ス
但議長ノ意見ヲ以テ議員ニ諮問シ第二次會ニ於テ確定スルヲモアルヘシ

第八條 議員ハ必ス可否ノ數ニ加ハラサルヲ得ス

第九條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス故ニ議員

ハ皆其命令ニ順ヘシ

第十條 書記ハ議案ヲ朗讀シ及議事ノ顛末ヲ筆記シ且議場ノ庶務ヲ弁理ス

第十一條 議員發言セント欲スル者ハ先ツ起立シテ議長ト呼ビ而シテ自己ノ番號ヲ呼フ議長其番號ヲ返呼セン上發言ス可シ若シ數人同時ニ起立スルトキハ議長其内ノ壹人ヲ呼ビ發言セシムヘシ但三次會ニ於テハ發言一回トス

第十二條 議場ニアツテハ議長議員トモ總テ其姓名ヲ呼ハス議長ハ議長ト呼ビ議員ハ其番號ヲ呼フ可シ
第十三條 議員發言スルモノ壹名以上ノ同意者ナキトキハ議場ノ問題ト爲スヲ得ス

但第三次會ニ於テハ三名以上ノ同意者ナキトキハ問題ト爲スヲ得ス

第十四條 議員ハ充分討論ノ權ヲ有スト雖モ議員相互ノ辨論ヲ爲及人身上褒貶毀譽ニ涉ルヲ許サス若シ此場合ニ於テハ議長ヨリ其發言ヲ制止ス可シ

第十五條 議事中ハ各議員整肅シ談笑私語及ヒ喫茶吹煙ス可ラス

第十六條 議事中ハ議員妄リニ席ヲ離ル可カラズ若シ不得止事故アリテ席ヲ離レントスルトキハ先ツ其事由ヲ述ヘ議長ノ許可ヲ受ク可シ

第三章 罰則

第十七條 村會議員タルノ責任ヲ盡サ、ル者アルトキハ村會ノ議決ニ依リ貳山以下ノ罰金ヲ科スルコ

トアル可シ

明治廿二年十一月法律第二十八號

議會並議員保護ノ件

- 第一條 法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シ公然誹毀侮辱シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ処シ拾山以上百山以下ノ罰金ヲ附加ス
但議會ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
- 第二條 前條議會ノ議員ニ對シ其公務上ノ言論行爲ニ付公然誹毀侮辱シタル者又ハ議員ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ処シ五山以上五拾山以下ノ罰金ヲ附加ス
- 第三條 議員其公務ヲ行フニ當リ暴行脅迫ヲ以テ其言論行爲ヲ妨害シタル者ハ四月以上四年以下ノ重

禁錮ニ處シ五山以上五拾山以下ノ罰金ヲ附加ス

- 第四條 議員ノ職ヲ辭セシムルノ目的又ハ其公務上ノ言論行爲ヲ妨害セントスル目的ヲ以テ議員ヲ脅迫シ又ハ恐喝シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ貳山以上貳拾山以下ノ罰金ヲ附加ス
但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

- 第五條 第二條第三條ノ罪ヲ犯シ因テ議員ヲ歐傷シタル者ハ刑法歐打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

明治廿二年五月法律第三十九號

市町村會議員撰舉罰則

- 第一條 凡テ撰舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ撰舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ貳山以上貳拾山以

下ノ罰金ニ處ス議員タルコトヲ得サルノ實ヲ告ケ
スシテ議員トナリタル者ハ三田以上三拾田以下ノ
罰金ニ処ス

第二條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ
他人ノ爲ニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以
テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務
ヲ撰舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル
者ハ三田以上三拾田以下ノ罰金ニ処ス其授與又ハ
約束ヲ受ケタル者亦同シ

第三條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ撰舉會場ノ
近傍若クハ撰舉人往來ノ途中ニ於テ撰舉人ニ酒食
ヲ供シ又ハ撰舉會場ニ往復スル爲車馬ノ類ヲ給シ
タル者ハ第二條物品授與ノ例ニ依リ処斷ス其供給

ヲ受ケタル者亦同シ

第四條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ撰舉人ノ爲
ニ撰舉會場ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ休泊
料ノ類ヲ代辨シ又ハ代辨スルコトヲ約束シタル者
ハ第二條金錢授與ノ例ニ依リ處斷ス
其代辨又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第五條 第二條第三條及第四條ニ記載シタル所業ヲ
爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ刑
法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス

第六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ撰舉人ニ暴
行ヲ加ヘタル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ
処シ貳田以上貳拾田以下ノ罰金ヲ附加ス

第七條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ撰舉人ヲ脅

逼シ拐引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐偽ノ手段ヲ以テ其撰舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ第六條暴行ノ例ニ依リ處斷ス

第八條 第六條及第七條ニ記載シタル所業ヲ爲シテ第二條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五山以上五拾山以下ノ罰金ヲ附加ス

第九條 撰舉人ヲ脅逼シ若クハ撰舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若クハ劫奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五山以上五拾山以下ノ罰金ヲ附加ス
其情ヲ知リ嘯聚ニ應シタル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ貳山以上貳拾山以下ノ罰金ニ處ス

第十條 撰舉ノ際撰舉ニ關スル吏員若クハ撰舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ撰舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ拾山以上百山以下ノ罰金ヲ附加ス

第十一條 多衆ヲ嘯聚シテ第十條ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ貳拾山以上貳百山以下ノ罰金ヲ附加ス
其情ヲ知リ嘯聚ニ應シタル者ハ拾五日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ四山以上四拾山以下ノ罰金ニ處ス
第十二條 第九條第十條第十一條ノ場合ニ於テ犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第十三條 撰舉會場所在ノ郡市内ニ於テ撰舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用ヰル等ノ所業ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受ルモ仍其命ニ從ハサル者ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ処シ三回以上三拾回以下ノ罰金ヲ附加ス

第十四條 被撰人タルコトヲ得ル者ヲ指シテ被撰人タルコトヲ得ス又ハ當撰ヲ承諾スルノ意ナシトノ虛報ヲ流傳セシメタル者ハ三回以上三拾回以下ノ罰金ニ処ス

第十五條 戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ撰舉會場ニ入リタル者ハ三回以上三拾回以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第二條ニ記載シタル目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ貳回以上貳拾回以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ撰舉人タルコトヲ得スシテ投票ヲ爲シタル者ハ三回以上三拾回以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 當撰人第二條乃至第十六條ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當撰ハ無効トス

第十九條 本法ニ規定シタルモノ、外刑法ニ正條アルモノハ各々其條ニ依リ重キニ從テ處斷ス

第二十條 本法ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ滿期免除トス

第二十一條 本法ハ市町村會ノ外市制町村制並ニ明

治二十二年法律第十一號ニ據リテ開設スル各種ノ
議會ノ議員撰舉ニモ適用ス

明治廿二年五月村告示第二號

草津村吏員報酬給料支給規則

- 第一條 名譽職員ノ報酬ハ其年額ヲ十二分シ毎月之
ヲ支給ス其新タニ職務ニ就キタルトキハ其當日ヨ
リ起算シ其月分ハ日割ヲ以テ計算支給スルモノト
ス
- 第二條 有給職員ノ俸給ハ其職務ニ就キタル當日ヨ
リ起算シ其当月分ハ日割ヲ以テ計算支給スルモノ
トス
- 第三條 報酬及俸給ノ額ハ別表ニ定ムル所ニ依ル
- 第四條 報酬俸給及日給ノ支給日ハ毎月廿六日トス

但休日ニ當ルトキハ操上ケトス

- 第五條 日給ノ者ハ前月廿六日ヨリ当月廿五日迄ノ
給額ヲ支給スルモノトス
- 第六條 退職及ヒ死亡者ハ報酬俸給若クハ日給ニ拘
ラス日割ヲ以テ計算支給スルモノトス
- 第七條 報酬若クハ俸給ニ増減ヲ生スルトキハ其増
減シタル翌日ヨリ起算シ其当月分ハ日割ヲ以テ支
給スルモノトス
- 第八條 退職ノ者事務引繼殘務取調ノ爲メ公務ニ從
事スルトキハ其間尙從前ノ報酬若クハ俸給ヲ支給
スルモノトス
- 第九條 前條事務引繼ヲ終ヘタル後更ニ前職中ノ事
務取調ノ爲メ公務ニ從事シタル報酬若クハ俸給ハ

其日數ニ應シ前職ノ報酬若クハ俸給額ノ日割ヲ以テ支給スルモノトス

第十條 願濟休暇旅行ノ者及自己ノ病氣ヲ除クノ外

私事ノ故障ニ依リ上廳セサルモノ三十日以上ハ日

割ヲ以テ報酬若クハ俸給ノ半額ヲ減スルモノトス

第十一條 病氣ニ依リ上廳セサル者九十日以上ハ日

割ヲ以テ報酬若クハ俸給ノ半額ヲ減スルモノトス

但轉地療養トモ本條ニ據ル且公務ノ爲メ傷痍ヲ

受テ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此限ニアラス

第十二條 忌引ニ依リ上廳スル能ハサル者ハ第十條

第十一條ノ日數ニ算入セサルモノトス

第十三條 公務ニ依リ旅行スルモノハ第四條ノ支給

ニ拘ハラス翌月迄ノ報酬若クハ俸給ヲ繰上ケ支給

スルコトヲ得

第十四條 日給ノ者役場一般ノ休暇日ハ之ヲ支給シ

病氣引籠忌引其他不參ノ日ハ總テ支給セサルモノ

トス

第十五條 在職中死亡シタル者ハ報酬ハ年額五分ノ

一俸給ハ現俸給三ヶ月ノ範圍内ニ於テ其遺族者ニ

給ス

草津村吏員並報酬及俸給金額表

職名人員	報酬俸給別給	同上金額
村長 壹人	報酬年額	六拾 圓
助役 壹人	全	無報酬
助役 壹人	俸給月額	八 圓
收入役 壹人	全	八 圓

書記	貳	八	全	拾	四	圓
付屬員	貳	八	日	給	額	貳
使丁	貳	八	全	三	拾	錢

本表ノ金額ハ渾テ最高度額ヲ示スモノナレハ其範圍内ニ於テ支給スルモノトス

明治廿二年五月村告示第三號

草津村長以下文具支給規則

第一條 此規則ニ於テ文具ト稱スルモノハ左ノ物品ヲ總稱ス

- 筆 墨 朱 檢印用印肉 卷紙 押紙 硯石
- 硯箱 錐 鋏 糊壺 水入 定木 尺度 小刀
- 檢印用肉池 野引 鉛筆

第二條 村長以下ニ給スル文具ハ現品ヲ以テ之ヲ給

セス毎月廿六日(休日ニ當ルトキハ換上ケルト)代料ヲ以テ之ヲ給スルモノトス

- 一村長 一ヶ月 金貳拾錢
- 一助役 全 金貳拾錢
- 一收入役 全 金貳拾錢
- 一書記 全 金貳拾錢
- 一付屬員 一日 金五厘
- 一區長 一ヶ月 金八錢

第三條 公務上高價文具ヲ要スルトキハ特ニ現品ヲ以テ之ヲ支給ス可シ

明治廿二年五月村告示第四號

村長以下旅費支給規則

一村長以下部外出張ハ往復三里以上ヨリ旅費ヲ給ス

其額左ノ如シ

村長	車馬賃一日里	金四拾錢
助役	全全	金四拾錢
收入役	全全	金三拾錢
書記	全全	金貳拾錢
使丁	全全	金拾貳錢

一非常急行ニ依リ特ニ舟車馬等ノ實費拂ヲ要スルト
 キハ本村内外ヲ問ハス其實費ヲ支給スルモノトス

明治廿二年六月村告示第五號

草津村區畫設置

一本村ヲ畫シテ左ノ三區ト爲シ每區ニ區長一名ヲ置

ク

- 第一區々長 宇草津村
- 第二區々長 宇矢倉村
- 第三區々長 宇大路井村

明治廿二年六月村告示第六號

草津村區長報酬額

- 第一區々長 報酬年額金貳拾四圓
- 第二區々長 全 金拾八圓
- 第三區々長 全 金拾圓

但支給方法ハ村長助役報酬支給規則ニ據ル

明治廿二年七月村告示第七號

栗太郡草津村戶別等級課額規則

上等 拾等ノ七拾五倍ヲ課ス

壹等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等	拾等
拾等ノ五拾倍ヲ課ス	拾等ノ四拾倍ヲ課ス	拾等ノ三拾倍ヲ課ス	拾等ノ貳拾五倍ヲ課ス	拾等ノ貳拾倍ヲ課ス	拾等ノ拾五倍ヲ課ス	拾等ノ九倍ヲ課ス	拾等ノ四倍ヲ課ス	拾等ノ貳倍ヲ課ス	拾等ノ一ヲ課ス	壹等ノ五拾分ノ一ヲ課ス

但本行ハ戸數割及戸別割等一切ニ係ル定率ナリトス而シテ等級議定ノ後新タニ一戸ヲ構

ヘ又ハ他ヨリ來住スルモノアルトキハ地方税ニ係ル戸數割ノ如キハ其一々年度内ハ普通ノ課額ニ負擔スベク成規ニ依リ之ヲ除キ他ハ渾テ其年度内ニ限り村長ニ於テ相當ノ等級ヲ定メ本表ニ據リ其課額ヲ徴收スルモノトス

明治廿二年七月村告示第八號

草津村役場會計決算報告期限

一本村役場會計ハ其年五月十五日迄ニ閉鎖ヲ爲シ收入役ハ豫算表式ニ據リ精算報告表ヲ調製シ且各費目ニ分別編綴シタル正當領受証書及命令書相添ヘ五月三十一日迄ニ村長ニ提出ス可シ

一村長ハ前項ノ報告ヲ受ケタル片ハ之ヲ審査ノ上意

見ヲ付シテ其年六月十五日迄ニ村會ノ認定ニ付ス
ベシ

明治廿二年九月村告示第九號

歲出豫算科目流用支辨規程

一大科目ノ流用ハ許サズト雖モ以下ノ小費目ハ村長
ニ於テ適宜流用支辨スルモ妨ケナシ
但土木費ニ限リ每區流用スルヲ許サズ其區限ノ
流用ハ本項ノ如シ

明治廿二年十月村告示第十號

常設消防規程

第一條 當組ハ草津村消防組ト稱ス
第二條 消防組人員並ニ器械及付屬品等ヲ定ムコト左
ノ如シ

消防組人員	
組頭	一 人
副組頭	一 人
小頭	三 人 内一人唧筒付一人鳶付一人梯子付
經付	一 人
鳶付	十二人
梯子付	二 人
唧筒付	十 人
旗持	一 人 夜間ハ高張提燈
水桶持	二 人
計	三十三人
消防組器械並ニ付屬品	
唧筒	一 個

- 鴛口 十二挺
- 梯子 一個
- 水桶 三個
大一個
小二個
- 纏旗 一本
- 提灯 一本
- 職服 三十一組
高張一張
弓張四張
腰張二十八張

八 點

第三條 前條器械並ニ職服ニハ組名ヲ記載スルヲ
 第四條 消防組ニ關スル經費ハ村會ノ議決ヲ以テ實
 施スルモノトス
 第五條 出火場ニテハ總テ警察官ノ指揮ニヨルモノ
 トス

第六條 正副組頭ハ組員ニ於テ撰舉シ村長之ヲ命ス
 但任期ハ二ケ年トシ更ニ撰舉ス前任ノ者ヲ再選
 スル事ヲ得
 第七條 小頭以下ハ組員中ニテ組頭ニ於テ撰舉シ村
 長へ届出ツルモノトス
 第八條 消防組員トナルヲ得ベキ者ハ本村内ニ居住
 スル滿二十年以上四十年以下ニシテ盜罪又ハ放火
 罪ヲ犯シタルモノヲ除キ身體強壯ナルモノニ限ル
 ベシ
 第九條 消防器械ハ組頭ニ於テ之ヲ保管シ臨時差問
 へナキ様用意ス可シ
 第十條 出火並ニ鎮火信號ハ左ノ例ニ依ル其信號打
 場ハ字草津村小字一町目堤防ニ建設アル半鐘ヲ用

ユベシ

村内出火信號



近傍各村出火信號



鎮火信號



第十一條 前條出火信號ヲ聞知シタル片ハ正副組頭ハ速ニ小頭以下ヲ引卒シ現場へ駆付警察官ノ指揮ヲ受ク可シ

第十二條 出火場ニ在リテハ總テ警察官ノ指揮ナクシテ濫ニ進退シ又ハ家屋ヲ破毀スベカラズ

第十三條 組頭ハ組員ヲ取締リ出火場ニ在テハ警察官ノ指揮ヲ受ク之ヲ傳命指揮スルモノトス

第十四條 鎮火ニ至テハ其場ニ整列シ警察官ノ點檢ヲ受ク可シ事故ナクシテ其場ニアラザルモノハ不

參ト見做ス可シ

第十五條 小頭以下職務ニ従事スル片ハ必ス一定ノ職服ヲ着シ必用ノ物品ヲ携帯スベシト雖モ平素之ヲ使用スベカラズ

第十六條 出火ノ際ニ方リ消防組ノ糧食其他需用品供給等ハ村吏及區長ヨリ之ヲ支給スベシ

第十七條 職務上功勞アルモノハ其景況ニヨリ賞與シ又ハ粗暴怠慢等ノ所爲アルモノハ相當ノ處分ヲ受ル事アル可シ

第十八條 消防組ハ本村内火災消防ノ爲メ設クルモノト雖モ近傍各村ノ出火ニシテハ小頭以下十名ノ者旗(夜間ハ高張提灯)其他相當ノ器械ヲ携帯シ應援スベシ

第十九條 小頭ニアツテハ第二條ノ弓張提灯及法被ノ脊面ニ組名ノ外尙職名ヲ記ス可シ



腰差提灯



第二十條 小頭以下渾テ消防組ノ職服ハ紺色ノ法被股引頭巾法被ノ前襟及脊面ニハ左ノ例ニ依リ組名等ヲ染出スベシ

前襟 左右 消防組

脊面 小頭 經 水筒 梯子 等分記ス

明治廿二年十月村告示第十一號

臨時出納檢査規程

- 一 臨時出納檢査ハ村長ニ於テ村會議員ノ立會ヲ以テ每會計年度内ニ二回之ヲ行フモノトス
- 但時機ニヨリ村長ノ見込ヲ以テ三回以上ニ及フコトアル可シ
- 一 臨時檢査ノ立會員ハ村會議員三名ト定メ議員中ヨリ互撰ヲ以テ之レニ充ツ
- 一 檢査立會員ノ任期ハ一年トス
- 但任期滿限ニ至リ再選セラレ、コトヲ得

一 檢査立會員ハ村長ヨリ通告ヲ受ケタルトキハ其日
 時限必ス出席スベキモノトス
 但不得止事故アリ出席不能キハ出席時限迄ニ其
 旨村長へ届出ツベキモノトス
 一 臨時檢査ハ必ス議員ノ立會ヲ要スベキヲ以テ一名
 以上ノ立會員アルニアラザレバ之ヲ執行スルヲ得
 ス

明治廿三年三月村告示第一號

栗太郡草津村商工業料理屋飲食店等
 各營業者ニ係ル地方稅等級課額規則

上 等	拾 等	六 拾 個 ヲ 課 ス
壹 等	拾 等	ノ 貳 拾 個 ヲ 課 ス
貳 等	拾 等	ノ 拾 六 個 ヲ 課 ス

明治廿四年三月村告示第一號

草津村稅徵收期限

第一期 四月十五日限
 第二期 九月十五日限

參 等	拾 等	ノ 拾 三 個 ヲ 課 ス
四 等	拾 等	ノ 拾 個 ヲ 課 ス
五 等	拾 等	ノ 七 個 半 ヲ 課 ス
六 等	拾 等	ノ 五 個 ヲ 課 ス
七 等	拾 等	ノ 三 個 ヲ 課 ス
八 等	拾 等	ノ 貳 個 ヲ 課 ス
九 等	拾 等	ノ 壹 個 半 ヲ 課 ス
拾 等	壹 等	ノ 貳 拾 分 ノ 一 ヲ 課 ス

第三期 十二月十五日限

但村税中營業割徴收期限ハ地方税營業稅ト同時亦新規起業ニ係ルモノハ其際徴收ス可シ

明治廿四年三月村告示第二號

草津村長助役改選交替手續規程

第一條 村長及助役ノ任期ハ月ヲ以テ之ヲ數フ
第二條 村長及助役ハ各其任期ノ了ル月ニ於テ之ヲ行フ

第三條 新村長及助役ハ前村長助役任期滿限ノ翌月一日ヲ以テ就職シ前村長助役ハ其前月末日ニ於テ退職スルモノトス

明治廿四年三月村告示第三號

草津村收入役改選交替手續規定

第一條 收入役ノ任期ハ月ヲ以テ之ヲ數フ
第二條 收入役ハ其任期ノ了ル月ニ於テ之ヲ行フ
第三條 新收入役ハ前收入役任期滿限ノ翌月一日ヲ以テ就職シ前收入役ハ其前月末日ニ於テ退職スルモノトス

明治廿四年十一月廿四日印刷
全 年十一月廿四日出版

編輯者

深尾信治

滋賀縣栗太郡草津村大字草津
第五百五拾番屋敷

發行兼
印刷者

福島

耕

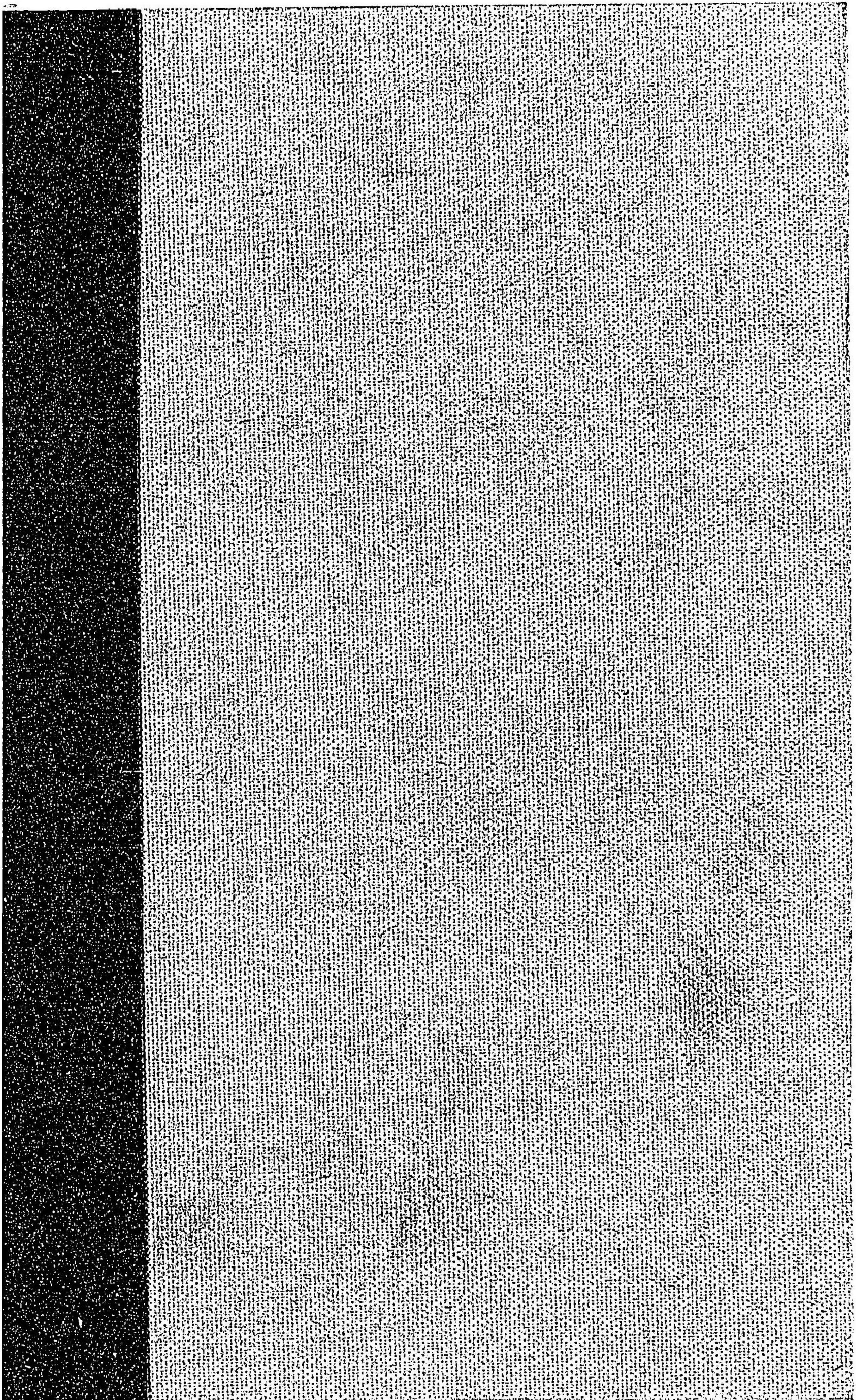
滋賀縣栗太郡草津村大字草津
第四百二十五番屋敷

滋賀縣栗太郡草津驛

印刷所

福島刷工場

073E-74



CZ
1113
68-K-01

滋賀縣栗太郡草津村諸法規
第一編
国立国会図書館

禁電子式複写

031311-000-9

CZ-1113-68-K-01

滋賀県栗太郡草津村諸法規

第1編

深尾 信治/編

M24

BBD-0492

